



市HP関連ページ

適正な利用を考える機会に

9月9日は「救急の日」です



9月6日(日)~12日(土)までは「救急医療週間」として、救急業務および救急医療に対する国民の正しい理解と認識を深めていただく期間です。

救急車は緊急性の高い人を搬送します



救急車を呼ぶ前に考えよう



【過去5年管内救急出場件数】

H27年	H28年	H29年	H30年	R1年
2,881	2,960	2,978	3,245	3,179

【過去2年署別救急出場件数】※医師搬送除く

	本署	荒川	神林	朝日	山北	関川
R1年	1,113	580	455	395	301	329
H30年	1,173	553	452	424	297	340

■救急出場の現状

村上市消防本部管内の救急車出場件数は、増加傾向にあり平成30年は3245件、令和元年は3179件と年間3000件を超える出場となっております。

●問い合わせ

消防本部警防課 ☎53・7223



9番通報してください。

緊急性の低い救急要請が増えること、重症の救急要請があっても遠くの署から出場することとなり到着が遅れます。「急な発熱」や「腹痛」などで救急車を呼ぶかどうか迷った場合には、15歳以上は「#7119」、15歳未満は「#8000」の救急電話相談へご相談ください。ただし、意識がない・普段通りの呼吸をしていない・胸痛・呼吸困難・麻痺や言語障害がある場合は迷わず119番通報してください。

■考えてみませんか？救急車の適正利用！

救急医療電話相談

県内のプッシュ回線・携帯電話からは

#7119

ダイヤル回線・IP電話・PHSからは025-284-7119

相談時間 毎日(19時~翌朝8時) 相談内容 発熱、腹痛、腰痛、吐き気など急な病気やけが等に關する相談

小児救急医療電話相談

県内のプッシュ回線・携帯電話からは

#8000

ダイヤル回線・IP電話・PHSからは025-288-2525

相談時間 毎日(19時~翌朝8時) 相談内容 お子さんの急な発熱、けが等に關する相談

署別	配置車両	職員
消防本部・本署	指揮車・タンク車・ポンプ車・救助工作車・化学車・はしご車・災害支援車・高規格救急車・広報連絡車・査察広報車・災害資機材搬送車・消防団本団車・消防団連絡車	67人
救急ワークステーション	高規格救急車	9人
荒川分署	タンク車・高規格救急車・防災学習災害活動車	13人
神林分署	ポンプ車・高規格救急車・査察広報車	13人
朝日分署	ポンプ車・高規格救急車・査察広報車	13人
山北分署	ポンプ車・高規格救急車・査察広報車	13人
関川分署	ポンプ車・高規格救急車・査察広報車	13人

※令和2年12月以降の署別体制

■お知らせ

12月開院予定の新村上総合病院に、市民の命を守る質の高い救急医療サービスを提供するため「村上市救急ワークステーション」を併設し、高規格救急車1台と救急隊員9名を配置して対応します。「村上市救急ワークステーション」の運用に伴い、村上市消防本部・消防署の新体制は次のようになります。